

所 属 鳥取県漁業協同組合（酒津支所）  
氏 名 ふくだ かずお  
福田 和央（55歳）  
船 名 ごん丸（0.5トン）、ごん丸2（1トン）  
漁業種類 潜水



### ～質実剛健とはこの人のこと～

話し始めてものの数十秒で、まじめで堅実な人柄が伝わってきた。福田さんは、酒津支所に所属する潜水漁師だ。潜水を選んだ理由は、周りの漁師たちの苦労を見てきたからこそ、現実的に自分に可能な漁だと思ったから。

古くから酒津の漁師たちとのつながりがあり、30年近く務めてきた大工から、先輩漁師に誘われたことで漁師になろうと決心した。大工時代のノウハウを活かし、かきおこしなどは自作のオリジナルを使用。愛船のごん丸は自分で修理して運用している。陸で培った技術は、確実に海で活かしている。

やりがいについて、「雇われの大工と違い、自分の手で獲ったものがその場でお金に変わるのがうれしいね」と語る。一方で「獲ったものがその場でお金に変わるということは、自分の実力が露呈するという。結果がついてこない時が一番つらい」と語る。職人気質の福田さんにとって、やりがいと苦労は紙一重。「そつなく稼いで生きていくのがこれからの目標だね」。福田さんらしさが滲むこの言葉に、安定した水揚げは保証されたようなものだ。

### ～奥さまと2人3脚で・・・～

現在、奥さまと2人暮らしの福田さん。大工から漁師になるための家族会議は、30秒で終わったとか。よき理解者である奥さまは、多くを語らずとも福田さんの気持ちを汲み取る。休日は、仕事のお手伝いをしてくださるそう。自分をしっかりと支えてくれる奥さまへの感謝の気持ちを胸に、福田さんは明日も海に潜る。

（文責：徳安 理敬）